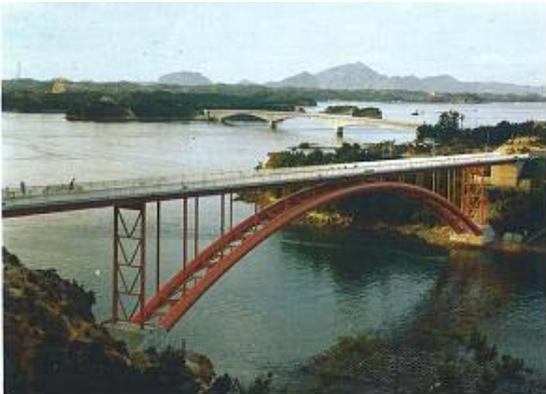
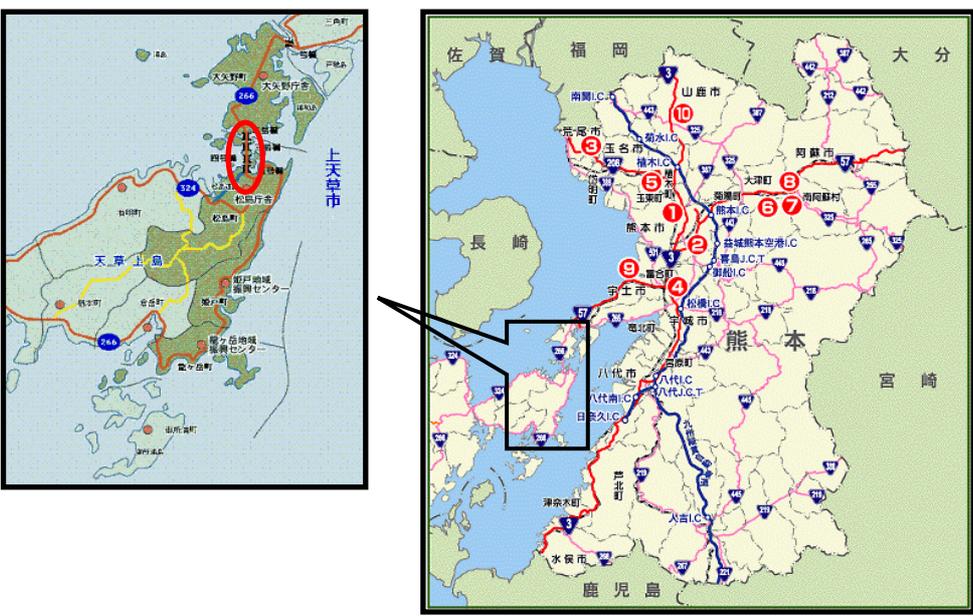


## 観光社会資本の事例

テーマ	天草パールラインマラソン大会	
【施設の状況写真】		
		
天門橋(天草1号橋 橋長 502m 高さ 42m)	上天草市松島町合津より天草五橋を望む(手前は松島橋(5号橋))	
【施設の利用写真】		
		
20km コース 3 号橋上	20km コース 2 号橋付近	20km コース 3 号橋付近
【観光資源としての利用状況】		
<p>一般国道266号のうち宇土郡三角町から上天草市を結ぶ区間は天草パールラインと呼ばれ、昭和41年の開通と共に、熊本県内はもとより全国から天草を訪れる人々の観光経路として活用されており、交流人口の増大に伴い、旅館や商店の賑わいに拍車をかけ、地域経済振興にも寄与してきました。</p>		
<p>この風光明媚な天草パールラインを活用し、壮年の健康マラソンの元祖として、熊本走ろう会が、昭和48年より33年間開催している天草パールラインマラソン大会は、「遅いあなたが主役」のシンボルフレーズの下、全国各地から愛好者に参加いただいております。延べ118,000人以上の方から御参加いただいております。その効果は観光振興に留まらず、地域住民の方々の活力向上にも寄与しています。</p>		

テーマ	天草パールラインマラソン大会
<p><b>【社会資本の基礎データ】</b></p> <p>○名称 一般国道266号(天草パールライン:天草五橋(1号橋(天門橋)、2号橋(大矢野橋)、3号橋(中の橋)、4号橋(前島橋)、5号橋(松島橋)))</p> <p>○所在地 熊本県上天草市大矢野町～上天草市松島町</p> <p>○事業名</p> <p>○事業主体 日本道路公団(償還後、管理主体は熊本県)</p> <p>○事業期間 昭和37年～昭和41年</p>	
<p><b>【社会資本の役割・効果】</b></p> <p>(経済効果)</p> <p>産業全般の流通経路の活用としては、新鮮な天草の幸(海産物・果樹・農産物)の鮮度を保ったまま都市部へ出荷することが可能となり、第1次産業の振興に寄与されてきました。</p> <p>(生活利便性の向上)</p> <p>一般国道266号天草パールラインの利用状況は、天草の生活基盤を支えるライフラインとして、住民の生活全般における多面的・複合的な向上をもたらしました。また、昨年3月の大矢野町・松島町・姫戸町・龍ヶ岳町の合併における上天草市の誕生には、この架け橋無しには考えられないものであり、市民の交流及び行政の効率化に果たしている役割は大きいものがあります。</p>	
<p><b>【位置図】</b></p> 	
<p><b>【関連ホームページ】</b>上天草市役所ホームページ</p> <p><a href="http://www.kamiamakusa-c.kumamoto-sgn.jp/">http://www.kamiamakusa-c.kumamoto-sgn.jp/</a></p>	